

1 単元名 自動車をつくる工業 (新しい社会5下 東京書籍)

2 単元の目標

- ・我が国の自動車工業の様子に関心をもち、自動車をつくる工業の製造過程や生産の販売、輸送に見られる工夫などについて意欲的に調べ、工業生産の発展について考えようとしている。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・自動車工業に携わる人々が、様々な工夫や努力をして国民生活を支える役割を果たしていること、日本の工業生産の発展にはこれらの工夫や努力が欠かせないことについて考え、適切に表現している。 (思考・判断・表現)
- ・我が国の自動車工業について、写真資料、地図、統計、新聞記事、その他の資料を活用して適切に読み取り、調べたことをノートや新聞などにまとめることができる。 (観察・資料活用の技能)
- ・我が国の自動車工業に携わる人々の様々な工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働きや、自動車工業が国民生活を支える大切な役割を果たしていることを理解することができる。 (社会的事象についての知識・理解)

3 小単元について

本小単元は、小学校学習指導要領の社会科[第5学年]の内容(3)のウを受けて設定された単元である。ここでは、「我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする」ことがねらいとされている。

児童は今までに日本の農業や水産業について学習をしてきている。その学習で、働いている人々の工夫や努力について考えることができるようになった。また、よりよいものを消費者に届ける運輸の重要性にも気づくことができた。

本小単元では、日本を代表する工業である自動車工業を取り上げ、そこに携わる人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き、消費者や社会のニーズにこたえ、環境や人にやさしい車をつくるために工夫や努力をしていることを手がかりにして、日本の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えられるようにする。その際、教科書の主題図や地図、統計といった各種基礎的な資料を活用しながら工業生産の仕組みについて調べ、人々の工夫や努力について思考・判断したことを表現できるようにする。

4 指導について

(1) 主体的に伝え合うための工夫

本校の研究主題は、「思いや考えを主体的に伝え合う子の育成～豊かな言葉と情報をもとに学習活動の充実を目指す～」である。今回、主体的に伝え合うために、伝え合う活動を取り入れる。ペア活動を取り入れることにより、全員が発表する機会を得ることができる。

そしてさらに、学習課題に対して受け身にならず、一人ひとりが授業に参加することができる。また、自分の考えと他者の考えを比べる良さに気づかせたい。ペア活動を行う前には、まず個人で考える時間を設ける。自分の考えを持ってから活動に臨むことで、他者とコミュニケーションをとることがやや苦手と思っている児童にも、相手の話を聞きたい、相手に伝えたいという思いを高めていきたい。

(2) 資料の活用

今日、電気自動車やハイブリッドカー、自動運転装置搭載の自動車など、人や環境に優しい自動車が日々、開発・研究されている。それらの日々進歩する自動車工業のことを調べる資料として、新聞記事を活用し、新しい資料で考えを深めさせたい。また、単に新しい自動車について考えるのではなく、新聞記事から今の社会の状況も読み取り、消費者や社会のニーズに合わせた自動車づくりについて考えるきっかけとしたい。

5 単元計画 (時間配分 9 時間 本時 8 / 9)

時	目標・学習活動 (□目標 / ・学習活動)	評価					
		関	思	技	知	評価基準	評価方法
1	<input type="checkbox"/> 日本は世界の中でも自動車生産台数が多い国であることに気づき、日本の自動車工業について興味をもつ。 ・ 自動車の部品の名前を書く。 ・ 資料を見て、気づいたことや不思議に思ったことを話し合う。	○		○		・ 日本は世界の中でも自動車生産台数が多い国であることに気づき、日本の自動車工業について興味をもっている。	ノート
2	<input type="checkbox"/> 日本の自動車が世界で売れている理由を考え、学習問題を見だし、予想を立て、学習計画をたてることができる。 ・ 日本の自動車が世界で売れている理由を考え、自分で調べたいことや、その方法を出し合い、学習計画をたてる。	○				・ 日本の自動車が世界で売れている理由を考え、学習問題を見だし、予想をたてることができる。	ノート

3	<input type="checkbox"/> インターネットや本を使って自動車の生産工程について調べ、生産工程やはたらく人たちの作業の様子とらえることができる。 <ul style="list-style-type: none"> 生産工程の動画や本を見て、自動車の生産工程についてまとめる。 			○ ○	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のおおまかな生産工程を理解し、ワークシートにまとめることができる。 	ワークシート
4	<input type="checkbox"/> 自動車づくりが流れ作業や分業によって効率よく進められていることを理解するとともに、はたらく人の思いを読み取ることができる。 <ul style="list-style-type: none"> 組み立ての工程における工夫や努力についてわかったことを話し合い、何のために、どのような思いで行われているのか考える。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 自動車づくりの流れ作業や分業について理解し、働く人の思いを読み取ることができる。 	ノート
5	<input type="checkbox"/> 写真や資料からシート工場働く人の工夫や努力を調べ、組み立て工場働く人と関連工場働く人が協力して、自動車を作っていることを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 写真や資料から、シート工場ではシートがどのように作られているのか読みとる。 ジャスト・イン・タイム方式がなぜ必要なのか班で考える話し合う。 		○	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> 写真や資料からシート工場働く人の工夫や努力を調べ、組み立て工場働く人と関連工場働く人が協力して、自動車を作っていることを理解している。 	ノート
6	<input type="checkbox"/> 完成した自動車の輸送方法や現地生産のよさについて理解することができる。 <ul style="list-style-type: none"> 自動車が消費者に届く過程や輸送方法について調べる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 完成した自動車の輸送方法や現地生産のよさについて理解している。 	ノート

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車の現地生産のメリットについて話し合う。 					
7	<input type="checkbox"/> 消費者や社会のニーズをふまえながら、環境にやさしい自動車の工夫について考えることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車の問題的について話し合う。 ・ 教科書や新聞記事からどの自動車が増えていってほしいか考え、話し合う。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者や社会のニーズをふまえながら、環境にやさしい車の工夫について知ることができる。 	ワークシート
8	<input type="checkbox"/> 人にやさしい自動車の工夫について考えることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書や新聞記事からどの自動車が増えていってほしいか考え、話し合う 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人にやさしい自動車の工夫と、それらを開発する人の思いや願いについて理解することができる。 	ワークシート
9	<input type="checkbox"/> これまで学習してきたことの中からテーマを決め、新聞にまとめることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで学習してきたことをもとに、自動車工業について新聞にまとめる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習したことをもとに、テーマを決めて、新聞にまとめている。 	新聞

6 本時の目標

人にやさしい車の工夫と、それらを開発する人の思いや願いについて理解することができる。

7 準備物

ワークシート、資料、パソコン

8 本時の展開（8 / 9）

時間	学習活動	教師の支援と評価
0	1 本時の学習課題を確認する。	
	人にやさしい自動車の開発について調べよう。	
3	2 資料を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の画像を印刷したもの、新聞記事を資料として配付する。 ・ わかりやすいように図や見出しを中心としたものを資料として提示する。

10	<p>3 学習課題について資料をもとに、自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくが注目したのは資料6です。ぼくは、自動ブレーキがかかる機能がついた自動車が増えてほしいと思います。理由は、ぶつかる前にブレーキがかかることで、事故が減ると思うからです。 ・わたしが注目したのは資料9です。わたしは、自動運転車が増えてほしいと思います。理由は、自分で車を運転出来ない人も、移動が楽になるからです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で見出しやキャプションを確認する。 <div data-bbox="863 271 1417 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・資料名 ・増えてほしい自動車 ・理由 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・大事だと感じた部分に赤線を引かせ、その部分を参考に書くように伝える。
23	4 ペアでお互いの考えを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えてからペア活動に移ることで、全員に自分の考えを伝える機会を持たせる。
28	5 全体の場で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく多くの資料がでるように指名をしていく。 ・「安全」「安心」「便利」「福祉」などのキーワードを取り上げる。
35	6 教科書 p.23 の児玉さんの話の動画を見て、開発する人の思いや願いを知る。	
40	<p>7 本時の学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、自動運転車は安全で便利な自動車だと思いました。開発する人たちは、みんなに喜んでもらうために、いろいろな実験や工夫をしていることがわかりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の考えを聞いて、気づいたことを書かせる。 <div data-bbox="853 1518 1401 1787" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知識・理解】 人にやさしい自動車の工夫と、それらを開発する人の思いや願いについて理解することができる。 (ワークシート)</p> </div>
43	8 次時の予告をする。	

9 授業の観点

人にやさしい自動車開発について知るために、新聞資料等を活用したのは有効であったか。

10 反省

11 ご高評